

コレクション特別公開

さくらさうりょう品種展

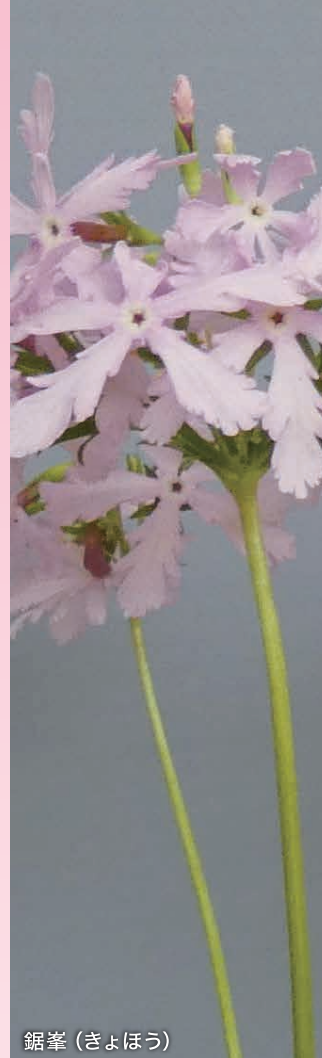
筑波大学コレクションの中から一〇〇種類以上の園芸品種を展示



薄蛇の目 (うすじゃのめ)



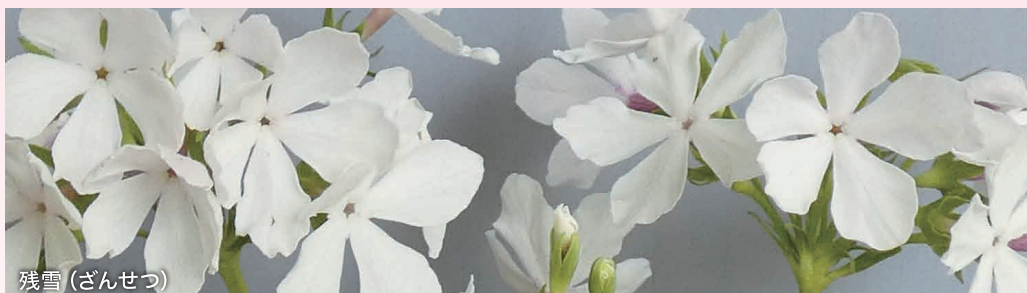
金孔雀 (きんくじゃく)



鋸峯 (きょほう)



天晴 (あっぱれ)



残雪 (ざんせつ)

開花状況により、写真の品種が展示されないこともあります。あらかじめご了承ください。

2026

4.18日 - 4.26日

筑波実験植物園

[開園時間] 9:00~16:30 (入園は16:00まで)

4/25(土)・26(日)は9:00~17:00 (入園は16:30まで)

[休園日] 4月20日(月)

4月19日(日) 無料入園日
オープンラボ開催

最新の情報は
こちらから →



[入園料] 一般 320円 団体(20名以上) 250円

高校生以下および65歳以上は入園無料 障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

[主催] 国立科学博物館 筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

[協力] 筑波大学さくらそう里親の会、NPOつくばアーバンガーデニング



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998 <https://tbg.kahaku.go.jp/>

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。その野生種をもとに、江戸時代から現代までに多様な園芸品種が作出されてきました。「さくらそう品種展」では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

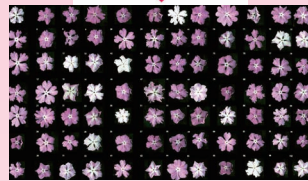
第一会場 [教育棟]

さくらそうを知る

さくらそうとはどのような植物か？野生のサクラソウから、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までを、パネルで解説します。



サクラソウの自生地の様子



園芸品種の交配から生じる多様な色・形

[さくらそう専門家の押し品種]

さくらそうを究めた専門家が、おすすめの園芸品種と鑑賞のポイントをパネルで紹介します。さくらそうを見る眼が変わるかも？

[クイズラリー]

さくらそう解説パネルを読みながらクイズに答えて、さくらそうについての知識を深めましょう。参加者には「さくらそうオリジナルシール」をプレゼント。

※数に限りあり。無くなり次第終了

シール(イメージ)

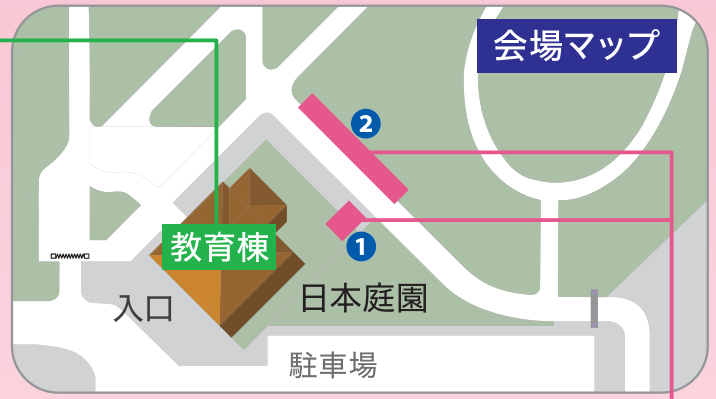


さくらそうを育てる

筑波大学と「さくらそう里親の会」が増殖したさくらそう品種を販売します。

※当日分が無くなり次第終了します。

※一人あたりの購入数制限あり。



第二会場 [日本庭園周辺]

1種の野生種から作出されたとは思えないほどの多彩な色、形、姿をお楽しみください。



①桜草花壇：江戸時代に考案された観賞方法



②会期中は、100種類以上の園芸品種をご覧ください

[講座] 植物園研究最前線 要事前予約 「シコクカッコソウ遺伝子資源から見てきた花の色の多様性」

シコクカッコソウは四国に自生するサクラソウ科サクラソウ属の植物で、愛媛大学にはシコクカッコソウの遺伝子資源コレクションがあります。本講座では、この遺伝子資源を解析して分かった花の色の変異について紹介します。

詳細はこちらから →



[日時] 4月25日(土) [時間] 13:30~15:00 [対象] 高校生以上 [定員] 30名 [講師] 水野貴行(国立科学博物館 筑波実験植物園)

アクセス

電車・バス

つくばエクスプレス「つくば」駅より
 ・つくバス 北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車 徒歩3分
 ・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車 徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車 徒歩10分

自動車

常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
 圏央道 つくば中央I.C.から約7km
 無料駐車場 約120台

